

## 資料7-4-①

令和6年(2024年)5月29日(木)

第7回市民参加推進審議会

## 市民参加推進審議会用資料①

市民参加を実施した計画・条例等の名称	実施所管名
北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想	都市計画部土地利用計画課
策定・制定等の目的	策定・制定期間(準備～策定・制定)
北野下水処理場、清掃工場等の公共施設再編に伴う創出用地活用に係る基本的な考え方を示す	令和3年(2021年)4月から 令和5年(2023年)6月まで
1. 策定・制定等にあたり実施した市民参加の方法	パブリックコメント、説明会、北野清掃施設・下水施設関係町会連絡協議会、ワークショップ 以下、ワークショップについて記載
2. 上記1で記載した市民参加方法を採用した目的、及び実施前に期待した効果	目的   基本構想をもとに、具体的な活用方法について議論を深めるため 期待   プロジェクトの認知度向上、まちづくりへ主体的に関わるプレイヤーの発掘
3. 上記1で記載した市民参加方法の実施スケジュールをどのような意図で設定したか	まずは、市としての大まかな方針を固めたのち、それを具体化するための取組について市民意見を聞くという形をとった。あらかじめ市が意思表示しつつ、実現化手法が固まっていないタイミングで市民意見を聞くことで、ある程度具体的な内容をイメージして建設的な意見交換を実施するよう配慮した。
4. 上記1で記載した市民参加方法の対象者をどのような意図で設定したか	本プロジェクトに関心のある方と幅広く議論できるよう、門戸を広く設定した。
5. 周知方法及び周知時期(実施のどのくらい前に周知したか)	1か月前
6. 実施場所(どのような意図で実施場所を決定したか)	地区の理解を深めるため、初回は現地で開催。 2回目以降は、アクセスのしやすさを考慮して八王子駅周辺で実施(学園都市センター、たま未来メッセ)
7. 意見反映について(寄せられた意見は、計画や条例等策定のどの段階で活用したか)	事業公募の際の市民意見として、民間事業者に提示する予定
8. よりよい市民参加のための新たな実施方法について(どのようなアイデアが考えられるか)	日時を問わず、市民参加できる環境を整える。 例   オンライン等でワークショップの経過を把握することができる。気軽に意見をいえる場を整える。
9. 市民参加促進について(促進のために必要なことは何か。市民が自主的に参加したくなるような動機づけとして考えられるものはあるか。)	市民参加が楽しいものであり、また市民参加によって自分のまちが良くなるなど、成果を実感できるような仕組みを整えることが課題。
10. 上記1で記載した市民参加の方法を実施した感想(市民参加とはどうあることが望ましい・あるべきと感じたか。)	市民に一定の責任と権限を付与し、主体的にまちづくりに参加できる場・仕組みを提供することが大切である。特に、行政への要望の場になることは、避けるべきと考えている。